

令和 6 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 海の環境教育 NPO bridge

1 事業の成果

「環境教育事業」では、私立中高等学校での「フィールド活用型の探究学習」の他、公的施設主催のワークショップおよび企業研修でのプログラム実施などを行なった。加えて、海の環境教育の基盤強化のため、昨年度作成した『海洋環境保全啓発動画』の舞台である「北九州市」にて、地域の海を題材とした小学生向け教材の開発および海洋教育指導者養成講座を実施、九州地区の地域のネットワーク強化を図った。作成教材は、当団体が運営管理をしている『海洋学習教材サイト LAB to CLASS』にて一般公開（無料ダウンロード可）し、全国の指導者が利用できるようにした。さらに、昨年度自主事業としてスタートした、グローバルな社会課題を海のフィールド体験を元に学習者個々の主体性に基づき多角的な視点で学ぶ「中高生向け探究学習プログラム」の試行実施に向けて、多様な教育関係者の協力の元プログラム構築を行なった（2025 年実施予定）。

「情報収集および情報提供事業」では、以下2つの普及活動を継続して行なった。

- ①他分野の研究者や NPO 等と連携して作成した、内陸部を含む全国の小中学生が「海の自然と、海と自分たちの(生活との)つながり」を体験的に学ぶための教材『LAB to CLASS』の普及を図るため、一般向けの広報に加え、海の環境保全に関心の高い多業種の企業を対象に、協賛・協働の可能性を探るためのヒアリングを実施し、ネットワーク構築を図った。
- ②日本沿岸に生息するミナミハンドウイルカとスナメリをモデルに海洋哺乳類の体のしくみと海と人間生活のつながりを学ぶためのワークショップを鯨類に対する知識を持たない指導者でも簡単に行える環境学習キット「実物大のイルカをつくろう！」「実物大のスナメリをつくろう！」の頒布のための広報活動。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業 (事業費の総費用【 4,696】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
環境教育事業	中高等学校に対するフィールド活用型環境学習のサポート事業（事前事後学習含む）	R6年4月～R7年3月	東京都	内部5名	東京近県	890名	3,945
	都内高校生のボランティアリーダー向け、海洋プラスチックごみ削減推進のためのワークショップ	R6年7月27日	東京都	内部2名	東京都	7名（視察者含む）	
	小学生むけ海洋学習室内ワークショップ	R7年3月	神奈川県横浜市	内部1名	横浜市	小学生17名 保護者10名	
	海洋教育指導者養成講習および教材作成	R6年9月～R7年3月	福岡県	内部3名	九州周辺地域	研修会34名 教材利用：不特定多数	
	企業研修での、海洋環境ワークショップの実施	R7年10月・12月	東京都	内部3名	東京都	60名	
情報収集および情報提供事業	環境学習キット「実物大のイルカをつくろう！」「実物大のスナメリをつくろう！」の普及・頒布	R4年4月～R5年3月	東京都	内部2名	全国	不特定多数	751
	海洋学習教材『LAB to CLASS』の開発、および web 環境を活用した普及	R4年4月～R5年3月	東京都・沖縄県・福岡県	内部5名	全国	不特定多数	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)